ZERO PLUS TIMES 〈ゼロプラスタイムズ〉

令和8年(2026年)
11月号
Vol.36

Interview：中古ホブ盤1台から始まった歯車専業メーカー



ゼロプラス東日本エリア担当の水谷です。
埼玉県吉川市にある株式会社帯刀ギヤー製作所は、創業以来50年以上にわたり精密歯車の設計・製作を手がけ、このたびゼロプラスグループに参画されました。今回は、歯車専業ならではの強みやグループ参画の経緯についてお伺いしました。

株式会社帯刀ギヤー製作所(埼玉県)



株式会社帯刀ギヤー製作所 **帯刀会長**

水谷:まずは御社の事業内容を教えてください。
帯刀会長:当社は歯車を専門に製造している会社です。歯車だけを扱う専業メーカーは業界でも珍しく、実際に工場を見学いただくと驚かれるお客様が多いですね。

水谷:創業からどのように歩んでこられたのですか？
帯刀会長:創業当初は、中古のホブ盤(歯切り盤)1台からのスタートでした。そこから少しずつ設備投資を重ねて、今の工場の形になっています。積極的に設備投資・更新を続けてきたことが、今の技術力とお客様からの信頼につながっていると思っています。

水谷:設備面での強みはありますか？
帯刀会長:汎用のホブカッター(歯切り工具)を使った加工はもちろんですが、当社では専用のホブカッターを自社で製作できる体制を持っています。そのため、市場に流通していない特殊な仕様の歯車にも対応できるのが強みです。数が出ないような専用品ほど、当社が力を発揮できる領域だと思っています。

水谷:価格帯についてはどのような戦略をお持ちですか？
帯刀会長:あえて「中くらい」のサイズ・価格帯を主戦場にしています。大きすぎても小さすぎても価格競争になりやすいので、当社にしかできない領域で勝負するようにしています。単価が高くても、なぜその価格になるのかをきちんとご説明できることが、お客様との信頼につながっていると思います。

水谷:今後、新しい取り組みも検討されているとお伺いしました。
帯刀会長:夜間の無人稼働にロボットを活用できないか、今まさに検討しているところです。人がいない時間帯にロボットで稼働率を上げられれば、新しい収益の柱になるのではと考えています。

水谷:このたびゼロプラスグループに参画された経緯を教えてください。
帯刀会長:M&Aの検討を始めてから1年半ほど、実はいくつかお話をいただいていたのですが、方向性が合わなかったり、買収後に大きく変えられてしまいそうな不安を感じるところが多くありました。その点ゼロプラスさんは「これまで通りで」というスタンスで、現場への過度な介入がなさそうな安心感があったのが決め手になりました。

水谷:参画後、社内に変化はありましたか？
帯刀会長:お客様との関係はあまり変わっていませんが、従業員の意識が前向きになったように感じます。今後は補助金や設備投資の面でも連携しながら、歯車専業としての強みをさらに伸ばしていきたいですね。

水谷:貴重なお話をありがとうございました！今後もグループ一丸となって成長していきましょう！引き続きよろしくお願いします。



埼玉県吉川市 **本社工場**



製品例 **ベベルギヤー**

会社名:株式会社帯刀ギヤー製作所
住所:埼玉県吉川市中井3-87
電話番号:048-982-9556
HP:https://obinata-gear.com/

当社HP	カタログ補助金.com	CO2比較.com	エスケイマシン在庫	Instagram	公式LINE
ゼロプラスの歴史や理念、事業内容をご紹介！	省力化補助金（カタログ注文型）対象設備を簡単検索！	脱炭素に関する最新情報を随時公開！	販売可能な中古機械の在庫一覧です！	ゼロプラスの雰囲気や従業員たちの楽しい日常！	大場社長 / ゼロプラス 補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！

問い合わせ先
〒 664-0858
兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F
TEL 072−764−5340
FAX 03−6800−5265
Mail
info@zeroplus-consul.co.jp

脱炭素ニュース



太陽光パネル下での菌床栽培



太陽光パネル下で栽培されたキクラゲ

ゼロプラスのお客様である広島県東広島市の株式会社佐々木様が、環境配慮型飼料による家畜由来のメタン排出を抑制する技術で特許を出願されました。
農業法人として太陽光パネルの下でのキノコの菌床栽培事業を行われており、今回ソーラーシェアリングで栽培したキクラゲを原材料とした環境配慮型飼料を開発されました。

家畜の胃内で発酵が行われる際に発生するメタンは温室効果ガスのうちの1つであり、地球温暖化において大きな影響を及ぼしています。今回開発された飼料は、従来品の課題であったコストや供給スケール、家畜の嗜好性といった点を克服し、高い受容性と環境負荷低減の両立を実現しました。

同社は農業法人としては珍しくSBT認証を取得され、脱炭素に向けて様々な取り組みを行われています。今後は本飼料の製造の安定化・日本全国への普及促進に向けて、ソーラーシェアリング事業を展開される予定です。

株式会社佐々木様のHPはこちら！

カタログ型補助金紹介

人手が足りない曲げ工程に、“着脱できる”協働ロボットを！

アマダ製「プレスブレーキ用協働ロボットシステム（CR010B）」は、カタログ補助金の対象製品です。レーザスキャナの設置で進入防止柵が不要なため、省スペースで導入できます。ロボットごと着脱できるので、量産品はロボット、多品種少量品は手曲げと、1台のベンディングマシンを柔軟に使い分けられます。CAMなしでロボット用プログラムを作成できるのも魅力です。

曲げ工程の自動化をご検討の際は、ぜひご相談ください。



製品詳細はコチラ！

代表から一言

最近、毎週のように東京、埼玉にいる大場です。9月にグループ入りして頂いた帯刀ギヤーの皆さん。歯車製造の少数精鋭スペシャリスト集団です。帯刀さんと初めてお会いした時の印象はとても素晴らしい経営者に巡り合えたという感動でした。切削加工に対する溢れる探究心、売上利益を確保する戦略的な営業スタンス、10名規模で販売管理、生産管理をシステム化している先見性。そして会長の人脈と専務の鋭い経営管理。いいところだらけの帯刀ギヤー。帯刀会長は、『会社をもっと大きくするにはゼロプラスと一緒にやるべきだ！！』と仰いました。現在ゼロプラスとしては販路拡大、設備投資、人材投入、賃金アップなどをご支援しています。ゼロプラスの金属加工事業の中核としては、帯刀ギヤーの営業力、技術力に期待しています。我々をパートナーとして選んで頂いた期待に応えるべくグループ全体が前向きに進めるようにがんばっていきます。

